

# みのり

学校ホームページ <http://www.kamonorin-h.nein.ed.jp>

## 空手道部高木選手、全国選抜出場決定！



11月24・25日(土日)に、富山県上市町で、北信越高校空手道新人大会が開催されました。本校からは、新潟県代表として、女子個人

組手-53kg級に高木知香選手(2-3)、-59kg級に山川琳子選手(2-5)が出場しました。先立つ21日(水)には、全校生徒で壮行式を行いました。

高木選手は、順調に勝ち上がり、決勝戦で国体準優勝のスーパーシード選手に0-1と惜敗したものの堂々の準優勝。来年3月の全国選抜大会出場が決定しました。山川選手も2回戦進出と健闘しました。

顧問は「本校空手道部十数年ぶりの全国大会出場。選手が本当によく頑張った。感無量です」と心情を吐露。高木選手も「全国大会に向けてさらに精進したい」と決意を述べています。

健闘を心から称えます。おめでとうございます。今後益々の活躍をお祈りします。

## 富井彩さん、税に関する作文で入賞！

「高校生の税に関する作文」コンクールにおいて、本校の富井彩さん(3-5)が、三条税務署長賞を受賞。11月15日(木)にVIP三条で表彰を受けました。

「農業の未来と税」と題する富井さんの作文は、「農家への税制面の優遇を伴う形での農業振興策が農業の未来にとって有益」「税制面の優遇を行うことで、より農業へのこだわりや工夫が可能になり、質の高い農作物をつくることできる」「後継者確保にもつながる」などと考えを綴っています。農業を学ぶ当事者としての課題意識が高く評価されました。

よく頑張りました。おめでとうございます。

## 関川実穂さんの秋葉錦守る取組に注目！



11月の1ヶ月間、弥彦神社で開催された菊祭り。咲き誇る菊花の一角に、本校生物工学科が守り続ける「秋葉錦」がありました。

現在育てているのは、生物工学科バイオテクコースの関川実穂さん(3-5)。11月14日(水)のNHK「旬感☆ゴトーチ！」に若杉先生と共に生出演し、一度絶滅の危機に陥った品種を先輩たちが守り育ててきたこと、思いを引き継いで課題研究に取り組んでいることなどを全国に紹介していました。

全国ネットの昼番組とあって、学校には0B・0Gから激励の電話があり、注目度の大きさを実感するとともに、生徒の皆さんの頑張りに感動しました。

地道な取組と努力を心から称えるとともに、農業や地域の課題を今後も考え行動してください。

## いじめ見逃しゼロキャラバンが本校を訪問！



11月26日(月)、県のいじめ見逃しゼロキャラバンが、本校を訪問。青海会役員と懇談しました。

訪問者は、地域活性化モデルの今井美穂さんをはじめ、サポーター、県警察、県教育委員会の皆さん総勢14名。学校からは、青海会会長をはじめ7名が参加しました。

キャラバンやいじめ見逃しゼロ県民運動の紹介、相談カード・チラシの贈呈、今井さんらからのメッセージの後、記念写真を撮らせていただきました。

みんなで、いじめをしない、いじめを見逃さない、いじめを許さない学校づくりを進めましょう。

## 第2回アグリ・スタディ・ツアーも大盛況！



11月10日(土)、第2回アグリ・スタディ・ツアー(ふれあい農園)が開催され、35名の小中学生・保護者の皆さんから参加いただきました。

今回は、第1回で定植した里芋の収穫(雨で中止)、ケーキ・サレ(フランス生まれの貝だくさん塩ケーキ)づくりと試食、テラリウム(ガラスケースに小さな植物園的な...)づくりと、盛りだくさんの内容。本校農業クラブ役員15名が説明役になり、一緒に農業の一端を体験しました。

参加者からは「雨で里芋掘りができずに残念だったけど、あらかじめ高校生が掘ってくれたものをお土産でもらえてうれしかった」「親子で作ったケーキがおいしかった」「苔と観葉植物で箱庭ができたみたいだった」などの声。高校生からは「小学生にも伝わるようにわかりやすさに気を付けた。楽しんでもらえて良かった」と、農業の魅力を再認識する機会になったようでした。

また、来年度も企画します。ふるって参加してください。関係の皆さん、お疲れ様でした。

## 来年度の青海会&農ク役員が抱負を語る！



11月14日(水)、青海会と農業クラブの役員選挙が行われました。

候補者は「生徒の声を反映し、明るく親しみやすい青海会をつくりたい」「学年を越えてより良いコミュニケーションをとれる学校にしたい」「より多くの人に農クに楽しくかわってほしい」「新たなアイデアで農クの活動を活性化したい」など、抱負を語りました。

役員と全校生徒が力を合わせ、より良い活動にしてください。期待しています。

### 選任された来年度役員の皆さん

- 青海会会長:窪田大地さん(2-5)  
副会長:堀川真那さん(2-4)、溝口俊常さん(1-2)
- 農業クラブ会長:佐藤美咲さん(2-5)  
副会長:重泉房江さん(2-5)、五十嵐未夢さん(1-2)

## プロジェクト発表技術を学び互いに研鑽！



11月13日(水)、新潟情報専門学校を会場に、新潟県農業クラブ連盟主催のプロジェクト発表技術研究協議会が開催され、本校から7名の生徒が参加しました。

講師は新潟情報専門学校のプロ教師。効果的なプレゼン技術の講義を受けた後、グループに分かれてパワーポイントでスライドを作成。発表後、感想・意見を交換し合い、互いに研鑽を積みました。

農業や地域の課題を発見・探究し、多くの人にわかりやすく伝えるプロジェクト学習は、PBL(プロジェクト・ベースド・ラーニング)という今後益々重要になる学び方です。お互いに切磋琢磨し、各校及び新潟県のレベルをさらに上げてほしいものです。

講師は新潟情報専門学校のプロ教師。効果的なプレゼン技術の講義を受けた後、グループに分かれてパワーポイントでスライドを作成。発表後、感想・意見を交換し合い、互いに研鑽を積みました。

## 人権同和教育講演会でデートDVを考える！



10月31日(水)、人権同和教育講演会として、「デートDV防止セミナー」が開催されました。

講師は、DV(ドメスティック・バイオレンス、夫婦間・男女間の暴力)防止の様々な取組を進める女のスペース新潟の専門家。いわゆるデートDV、未婚の若い男女間で起きる暴力の防止にスポットを当ててお話しいただきました。

生徒からは、「先生の寸劇が面白かった」「殴る蹴るだけでなく、馬鹿にする言葉や束縛、メールチェックなどもDVだとわかった」「もし異性と付き合っていたとしてもDVは絶対にしないようにする」「DVは男性が女性にするものばかりだと思っていたけど、逆もあるのだと初めて知ることができ良かった」「男女間でもお互いを尊重し、気持ちを理解し合うことが大切だと思った。やはり自分がされて嫌なことは他人にしてはならないとわかった」などの感想が寄せられました。

生徒からは、「先生の寸劇が面白かった」「殴る蹴るだけでなく、馬鹿にする言葉や束縛、メールチェックなどもDVだとわかった」「もし異性と付き合っていたとしてもDVは絶対にしないようにする」「DVは男性が女性にするものばかりだと思っていたけど、逆もあるのだと初めて知ることができ良かった」「男女間でもお互いを尊重し、気持ちを理解し合うことが大切だと思った。やはり自分がされて嫌なことは他人にしてはならないとわかった」などの感想が寄せられました。

21世紀は「人権の世紀」と言われます。すべての人の人権が尊重される社会にすべく、人権の問題を他人事ではなく、自分事として考え、正しく理解し行動できる人になりましょう。